

令和5年度 学習計画(シラバス)

教科	科目	対象学年 コース	単位数	担当者氏名	教科書 著者 発行所	使用教材・発行所						
公民	公共	2年	2	飯田 康信	「新版 公共」 矢野智司 ほか18名 (教研出版)	「新版 公共整理ノート」(教研出版)						
指導の重点 <ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生きる国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。 												
評価の観点 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; border-right: 1px solid black;">・知識・技能</td> <td>現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、資料が倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめている。</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;">・思考・判断・表現</td> <td>現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;">・主体的に学習に取り組む態度</td> <td>よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</td> </tr> </table>							・知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、資料が倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめている。	・思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	・主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
・知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、資料が倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめている。											
・思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。											
・主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。											
学習の評価 <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期考査、小テストで「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 2. 協同学習等への参加態度、レポート、課題提出等で「主体的に取り組む態度」を評価する。 3. 1の評価に2を加味し、総合的に評価する。 												
学期	月	考査	単元	学習内容	到達度目標 学習の目標(ねらい)							
1	4	中間	第3章 公共的な空間における 基本原理	第1節 民主社会の基本原則	・民主政治のあゆみが理解できている。(知識・技能) ・民主政治における国家と個人のあり方が考察できている。(思考・判断・表現)							
				第2節 日本社会の基本原則	・日本国憲法の三大原理や第9条の内容、憲法で保障されている権利が理解できている。(知識・技能) ・日本国憲法で保障されている権利がどのような具体的事件に適用されているのかを調べ、その保障と他者の権利や公共の利益との調和について考察できている。(思考・判断・表現)							
	6	期末	第4章 現代の民主政治と政治 参加の意義	第1節 日本の政治機構	・日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割が理解できている。(知識・技能)							
				第2節 政治参加と民主政治の課題	・選挙のしくみや政党の役割、地方自治の現状と課題が理解できている。(知識・技能) ・選挙制度によって政党政治の形態が変化することに気付くことができている。(思考・判断・表現) ・住民運動・消費者運動など、身近に自らが参加できる機会を発見し、主権者として参加しようという意欲を持つことができている。(主体的に学習に取り組む態度)							
2	9	中間	第5章 現代の経済社会と経済 活動のあり方	第1節 経済のしくみと市場機構	・市場経済のメカニズムが理解できている。(知識・技能) ・現代の資本主義経済でケインズ主義の有効な部分と改善すべき部分が判断できている。(思考・判断・表現) ・需給曲線を使って、どのように価格が変動するのか考察できている。(思考・判断・表現) ・市場機構では解決できない経済的課題に対して、市場機構を修正している具体例を指摘し自らの生活と結び付けることができている。(主体的に学習に取り組む態度)							
				第2節 財政と金融	・金融・財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。(知識・技能) ・税の使途に関心が持てている。(主体的に学習に取り組む態度)							
				第3節 日本経済の発展と変化	・戦後日本経済のあゆみが理解できている。(知識・技能) ・経済のサービス化が進展し、国民生活にどのような変化をもたらしたかを考察できている。(思考・判断・表現)							
	11	期末	第6章 国際社会の動向と日本 の役割	第4節 豊かな生活と福祉の実現	・雇用・労働問題や社会保障・福祉について課題を発見し、解決の方法を考察できている。(思考・判断・表現) ・失業率や公共事業のあり方に関心を持ち、新聞などで情報を集め、意欲的に現在の日本経済を探究できている。(主体的に学習に取り組む態度)							
				第1節 国際政治の動向	・国連の組織と役割や冷戦後の国際政治の流れが理解できている。(知識・技能) ・国連の現状と課題について考察できている。(思考・判断・表現)							
				第2節 国際政治の課題と日本の役割	・国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できている。(知識・技能) ・民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持っている。(主体的に学習に取り組む態度)							
12			第3節 国際経済の動向と国際協力	・貿易や外国為替相場について、そのしくみが理解できている。(知識・技能) ・地域経済統合が進んでいる世界の現状が理解できている。(知識・技能) ・発展途上国の現状を知り、貧困や飢餓などの克服のために自らがどのようなことができるか考えることができている。(思考・判断・表現) ・グローバル化した国際経済について自分なりの課題や展望が持てている。(主体的に学習に取り組む態度)								
3	1	学 年 末	第1章 公共的な空間をつくる 私たち	第1節 青年期と自己形成	・青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。(知識・技能) ・自己形成の課題について考察できている。(思考・判断・表現)							
				第2節 人間としての自覚	・古代のギリシア、中国の思想、三大宗教の内容が理解できている。(知識・技能) ・先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追究できている。(主体的に学習に取り組む態度)							
				第3節 日本人としての自覚	・古代・中世・近世・近代の思想家の思想内容が理解できている。(知識・技能) ・生活文化や伝統が自分自身の生き方に与えている影響について気付くことができている。(思考・判断・表現)							
	2		第2章 公共的な空間における 人間としてのあり方生き 方	第1節 西洋近現代の思想	・先人の生き方を通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方が考察できている。(思考・判断・表現)							
				第2節 現代の諸課題と倫理	・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。(知識・技能)							
				課題探究の観点	・現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に協働して考察、構想することができている。(思考・判断・表現)							
3			課題探究の手引き	・現代社会の特質から生じる価値の対立について、討論やディベートなどさまざまな方法を活用して主体的に探究できている。(主体的に学習に取り組む態度)								